

刊夕日八月四



定額一圓、一ヶ月五圓、三ヶ月十圓、半年二十圓、一年四十圓、廣告料五圓、電話六三〇番、印刷所 常磐毎日新聞株式會社

映畫脚本

旅合羽 (四)

一丁目 木津茂太郎

(タイトル) 川田屋!

—おやすの家の!—

男は云ふ

(タイトル)

一切分つた!荒川だ!

街道をいそぐ男

いそぐ男

荒川:山かげの荒川村

いそぐ男

又助の住家

祝ひの酒もりの最中らし

い

(タイトル)

御免よ

自分の一人出て何んだ、

誰だと云ふ

(タイトル)

人間だよ

子分戸をあける

にやりと笑ふ男

そのまゝ土足で座敷へ通

る

上座の又助

柱にしばられてゐるおや

す

男は云ふ

(タイトル)

おやすさん

おどろくおやす

じつと男を視る

(タイトル)

しばらく振りて歸つて參

りやした男です

御安心なせえ

おどろく一座の者

(タイトル)

やい荒川の又助とやら

女はもらつて行く

旅人だよ

旅鳥の市五郎つてえ旅人

だせ

刀が光る

争ひになる

斬られた奴

斬り込む奴

物を投げる奴

男はすばやく挑戦する

刀を抜く又助

もう七八人ぶつ倒れて

ゐる

男は刀を抜いてゐる

又助きりこひ

男の刀は又助を斬つてし

まふ

ぶつたほれる又助

男はすぐ柱のおやすをお

ぶつて外へ出る

戸口で三人きられる

街道

おやすをおぶつて走る男

五六人はまだ追つてくる

男は走つてゆく

おやすも走つてゆく

男は手を引いてゐる

町

川田屋

よろこぶ父母夫

笑つてゐる男、おやす云

ふ

(タイトル)

あなたはどなたですか

(タイトル)

俺は市藏だ

えつとびつくりするお

やす

市藏冠りの手拭を取

る

おどろくおやす

おやすの心に今こそ市

藏を思ふ心が湧いた

おやす思慕の表情をして

市藏の袂をにぎる

ホロリと涙がひかる

近 詠

吉田 青柳子

摘草や濱風軽く裾にうつ

摘草や白きイブロン見えかくれ

沈丁に軽く寄りけり乳母車

植ゑ換へて馨しき香や沈丁花

老松に鳥の巢ごもる潮の風

(タイトル)

俺は世間を歩いて来て

以前の市藏のやうな綺麗

いな身体ではなくなつた

(タイトル)

俺はやくざ者でござんす

旅鳥の市五郎でござんす

おやすちやんを: : :そん

な資格はありません

おやす大作を見る

いやな表情をする

おやすは大作を見るも

厭になつた

夕日の影の中に市五郎

の旅合羽が赤く遠ざかつ

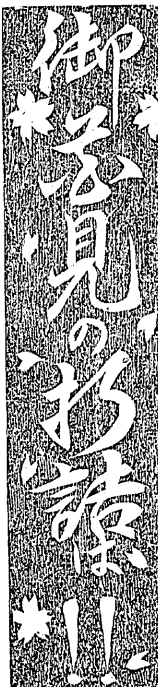
て行く: : : (をばり)

魚清食堂部改築御披露

◇階上新築食堂は皆々様を御待ちしてゐます

何卒御立寄下さい

例年の通り



最大魚折詰.....二十錢より

勉強壽司折詰.....二十錢より

本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使用致しま

す

多数は特に御相談に應じます

せ印 魚清食堂折詰部

平町字二丁目 電話六三三番

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

◎期日 来る二十四日 午前九時

郡下模型飛行機競技大會

第三回

参加資格何人を問はず参加券不用

尚其詳細は主催店へ御問合せを願ふ

主催 平町

後援

いづみや玩具店 常磐毎日新聞社 昭和産業博覽會 昭和美航空研究會 昭和美航空研究會 模型飛行機

鹽豚販賣開始

三三三屋 平田町

●小兒下痢一切小兒腸胃散● 堀藥局 平町二丁目 電話三三六番

開業御披露

過般の火災で弊店も類焼致しましたが一時凌ぎのバラツクが出来ましたので本日より開業する事になりました。何卒火災後の御同情と舊來の御愛顧にて倍舊の御最負御引立の程お願い致します。

尚ほ御出前も迅速に配達致します。

四月一日 平町田町

酒喜屋

電話一七一番

女中數名至急入用

# 平庶民金庫に

## 一段の強味を

### 山崎諸橋兩氏理事就任承諾

#### 専務は星野氏

### 中堅農民

#### 同窓懇親

信用組合平庶民金庫は難色ありと見られた新理事の山崎與三郎、諸橋久太郎兩氏就任を承諾したる爲め今後平町に於ける中心金融機關としてその機能を發揮する上に非常な強味を加へたが理事長には青沼録太郎氏再選從つて組合長の椅子に就き常任幹事としては本紙豫報の通り星野清吉氏を控え諸般の事務を運ぶ事となつた

今回の石城郡農會主催中堅農民講習會の終了者九十餘名は来る廿日午前九時より團體事務所樓上は第一回の同窓懇親會を行ふと

**自治會の役員** 平第二小學校にては十三日生徒の自治會役員を決定すると

### 忠魂祭當日の各係分擔が決定

既報十日の松ヶ岡公園忠魂祭各係分擔は左記の如く決定した

(總務) 伏見彦衛 山崎清三(受付係) 佐藤伊太郎 増子富治 山野邊達卓 伊坂道雄 石坂一雄 甲高三郎(祭典兼式場係) 藤田榮助 鈴木榮 吉田定正 遠藤心光 神長倉春造 佐藤淺次郎 關内甚平 田卷重三 三浦富美男 高木善枝(來賓係) 四家久米治 齋藤昌孝 鷺清昇 兒玉萬平 伊藤淺之助 野木龜之助 金成

淺治 渡邊金治 新妻盛下野十郎 大塚八郎 太田良一 鈴木三郎 (遺族傷兵接待係) 赤津一 松本新治郎 松田賢雄 古川清水 橋三郎 蛭田千代松 愛國婦人會役員(劍道係) 藤井一 長澤甚次郎 十二所常意 佐藤恕 室直與(銃劍術係) 松本幸平 麻原吉五郎 吉田憲英 小松武男 庄司正之(弓術係) 伊藤儀七 梅津松吉 廣木榮之助 橋谷田千代治 須藤鶴之助 鈴木丑松 山家謙之

### 農會長會議

石城郡農會では十四日午前十時より團體事務所樓上に各町村農會長會議を開催し役員の改選及び本年度獎勵事項に就いて協議を行ふ

助 猪狩菊三郎 望月辰藏 大間喜繁 渡邊太次郎(庶務係) 酒井寅之助 内田節太郎 高崎晴明 柏原光太郎 岩立淺藏

### 酌婦營業所の移轉下相談

委員に腹案なく 十二日に初顔合

既報平町々々調査の酌婦營業所の移轉に關する調査員の協議會は十二日役場内に開かれる豫定であるが目下の所各委員共充分な腹案の持ち合せがないので當日は各委員の外營業者側より宮田今朝吉、林富一の兩氏及び醫師側より根本、實川の兩氏の出席を求種々下相談を爲す由

### 自榮會理事會 免因保護團體たる平自榮會にて

は午後二時より用事會を開き豫算及び決算を協議する

**警女校職員會** 警城高等女學校にては明日午後一時より新學期最初の職員會を開くと

### 縣下高等女學校校長

平に參集して協議

警城高等女學校に於て来る二十六、二十七の兩日縣下高等女學校校長會議を開くと

### 上遠野馬市況

石城畜産組合の上遠野馬市場は五日より開始出場頭數百五

十四頭、總賣上金五千二百五十二圓で最高は八十圓、最低は十圓平均三十四圓で前回よりも約二割方安値であつたと

### 博覽會便り

▽彫刻家赤堀信平氏の等身大作品二点は昨日から第二會場美術館内に於て陳列され異彩を放つて居るが更らに本日は本多朝忠氏の彫刻三点がトラックにて運び込まれた

▽常磐線、東北本線、平郡線、各主要驛長は博覽會參觀團體の募集中であるが昨日迄に同會宛申込みありたるは中村、須賀川、本宮、神侯、磯原、小高等の各團體にて合計員三千人以上に及ぶ豫定である

▽各會場に無料休憩所の設けあり一般參觀者の便を圖つて居るが帝國生命にて第二會場に同休憩所をを設置した旨申出があつた

### 平町人事

△研町五當時千葉縣東葛飾郡市川町只野菊治氏二女一子  
△田町二九高木丑三氏長男壽夫  
△回死 亡  
△七軒町三五作山ミカ(一ツ)  
△材木町一五當時東京府下豊多摩郡松並町字成宗佐藤春吉(四三)

### 募一二勇士遺族の

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに嗚哭せむ、實に振古未曾有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠に三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、

名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と眞に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり、吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を餞け以て聊か勇士の靈を慰んとす

愛國の士奮つて賛せられんことを

### 阿部政右衛門 常磐毎日新聞社 後援

但し  
一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます  
二、右弔慰金は平驛前九ツ阿部右衛門店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ  
三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

寄附者芳名 || 第十九回分 ||

|    |         |   |    |     |
|----|---------|---|----|-----|
| 田町 | 大久保さよ子  | 同 | 同亮 | 三   |
| 同  | 同久ご     | 同 | 同卓 | 耶   |
| 同  | 同ぼたん    | 同 | 同瑛 | 郎   |
| 同  | 同藤 治    | 同 | 菅田 | ハツ  |
| 同  | 同武 雄    | 同 | 同甫 | 郎   |
| 同  | 同 敏 二   | 同 | 大谷 | 菊次郎 |
| 同  | 同 づ 二   | 同 | 同好 | 道   |
| 同  | 同 藤 たみ  | 同 | 同田 | 千藏  |
| 同  | 明雲堂眼科醫院 | 同 | 同仙 | 子   |
| 同  | 金成 時計店  | 同 | 同成 | 國雄  |
| 同  | 市原 卯太郎  | 同 | 同橋 | 喜四郎 |
| 同  | 同 三男    | 同 | 同高 | 木   |
| 同  | 同       | 同 | 同  | 久   |

# 五名の巡查採用に 百五十名も押寄せ

## 今日平署で大騒ぎ

平署の本縣巡查採用試験は本日午前八時より同署會議室にて執行試験官として福島巡查教習所、山崎所長、菊地教官來署したが就職難の時代として其確實性を頼つて應募する者多く受験生の大半は中等學校の卒業生を以つて占め中には中等學校教員資格者等も交つて五名の採用に對し百四十七名の多數應募者押し寄せ署内會議室に收容し切れず隣接の團休事務所樓上も臨時試験場に當る騒ぎを演じた

### 捕賊賞與

#### 平署へ金一封

平署の猪狩刑事及び兒島高橋、金田、林、瀬戸、眞弓、桑原、春川の十氏は昨日捕賊賞與として村井知事より金一封宛を贈られた

#### 高月送別會

高月俳句會にては本日午後六時より平町二丁目萩野天氏宅鶴屋旅館に於て警城高等女學校を退職した只野閑月氏の送別會を開くと

## 各炭礦競つて 賑ひのプラン

少年消防隊の梯子登りや女子青年團員のナギナタ

### 待たる、山神祭

々賑ひのプランをたて、居るから此の三日間は各炭礦共に人の山を築くであらうと

#### 平第一校の 少年野球選手

平第一小學校に於ける本年度尋常科野球選手は左の如く本日發表された  
矢野浩一(一捕)矢代弘文

## 大金記入の通帳を 盗まれたは思ひ違ひ

實は衣類の間にはさんで置きわすれてゐた

石浜郡内郷村字宮大内キンは昨日午前十一時家人の不在中何者か忍入り三百五十圓記入の貯金通帳を窃取されたと平署に届出たので内偵中の處本日同人が平署に出頭し窃取されたと思つたが實は衣類の間に挟んで置き忘れたのを今朝発見したと申したので散々説諭された

サタ 赤塚チヨ子(三組) 生田登志子 佐藤美代子 (四組)有板敏子 大島吉子  
△第三學年(一組)山本マサ

(一) 投) 田中忠太郎(三) 佐藤喜一(遊) 鈴木金治 (右) 小野芳雄(中) 關原太郎(補欠)

### 明日のテマオ

九日

今晩の部  
後六、三〇 講演「廢物利用と發明」小野俊一  
後七、三〇 宗教講話「釋尊の降誕に就て」高階龍仙  
後八、〇〇 掛合噺「金のなる國」東清駒外  
後八、三〇 富本「女姿酒替の中仲」鞍馬獅子 富木富前外  
後八、五五 映畫物語「ニユームーン」千石雷隆  
後九、三〇 奉天より

明日の部  
後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告  
後九、一〇 料理献立「イデアンキンスタイル」朝倉朝吉  
前二、〇〇 家庭講座「中樞神經の作用と睡眠」慶大醫學部教授醫學博士加藤元一  
後八、〇〇 五ジャズバンド トライインジャズバンド  
後二、〇〇 家庭講座「箏曲」(十一) 解説と實演

今晩は、風小雨、明日は、南の風次第に晴れ

宮城道雄唄 宮城芳子  
後二、四〇 運動競技「全布哇對、明大野球試合」  
況「明治神宮外苑野球場より中繼」  
後六、〇〇 子供の時間  
漫遊劇「團子串助漫遊記」  
東京ともたち座  
後六、三〇 講演 警視總監大野緑一郎  
後七、三〇 講演「貨幣金融に現れた國際主義と國民主義」名古屋高商教授高島佐一郎  
後八、〇〇 臺灣音樂 臺北放送局發大阪中繼  
後八、三〇 尺八と俚謠 浦本浙潮外  
後八、五〇 ビアノと管絃樂 フローレンスヒュブナー 梶山夫人  
後九、三〇 奉天より

## 正副級長

磐城高等女學校に於ける本年度各級正副級長左記の如く決定した  
△第一學年(當分の間身長者)を以て充てる  
△第二學年(一組)田崎富美子 土居瑞枝(二組)鈴木

## 本縣下の五百名 統計主任 花の平へ

### 廿二日に會議を開く

本年度縣下各町統計主任會議は来る廿二日午前九時より平第三小學校講堂に開催される事に決定したが同會議には五百餘名の縣下統計主任が出席するので是れが接待方法の準備に關し地元

## 賽錢泥の常習

### 靴屋から落ぶれて

昨夜十時頃城山下の平驛弓道場に一名の青年がうづくまつて居たのを巡廻の平署員が怪しみて取調ると同人は石城郡内郷村字綴元靴屋宮島定治郎(三)として一年前靴屋を営んで失敗して以來乞食同様に落ちぶれたが數ヶ月前より郡下各町村の郷社村社で賽錢採取を常習に働いて居つた事判明當夜も銅貨で三圓餘を所持して居た由

### 幕内橋の改修

役場では本日午前十時より會議室に土木委員會を招集し隣村平窪村との境界幕の内橋改築工事の請負人指定其の他に就いて協議をなした

## 負傷戰士を 労りませう

磐城高等女學校にては本日より支那事變傷病兵軍人後援會の旨趣に賛し「負傷戰士を労りませう」

### 無盡出張認可

平町警城商會では豫てより植田小名濱、富岡の三出張所存續方を内務省に申請中の處五日付を以つて大藏省より認可の指令に接した



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

【第廿二席】

神影流の達人秋山要介

(22)

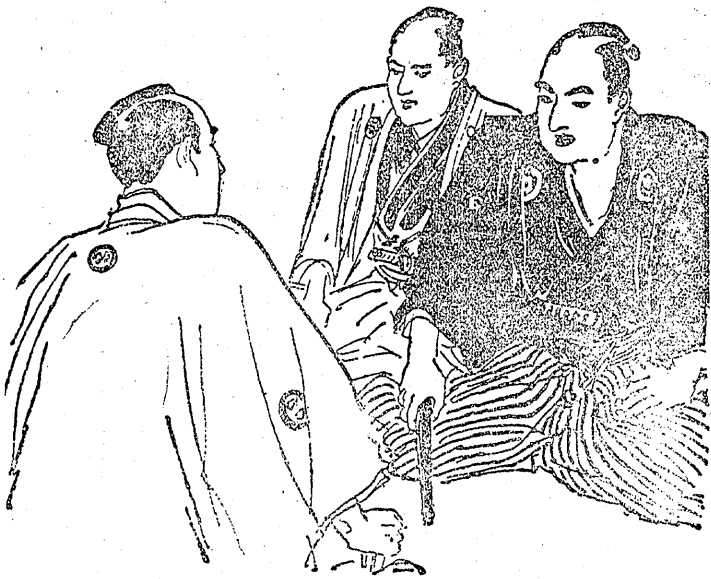
半左衛門の裁

關宿の船番所から出張し、關東郡代伊奈半左衛門、之は關八州を支配いたす代官、水戸家と井伊家の船頭との喧嘩に就て調べると、秋山要介が水戸の船頭と役人を打据へたとの事、何時も利根川を通る水戸の持船乗組の船頭又役人が横暴を極める事は聞いて居た、それを秋山要介が懲したは快い心事であれば能く然うしたと云つて賞める譯にはゆかぬ、そこで水戸家持船係の者と井伊家の船に居つた植松寅次郎を關宿の船番所へ連れて来て、喧嘩の原因を糾すと、水戸家の船が井伊家の持船に船を打突けて置きながら水戸家の船頭は井伊家より故意に船を當たものだと申し立てた、此折

植松寅次郎は寅『それは水戸家船頭又役人共の申し立ては大に事實に反して居ります、當家の持ふねは川を廻ります事とてふな足が遅く、水戸家の持ふねは下る事とてふな足早く、爲に衝突いたしました、然るに當方にて故意にふねを打突けた如く申し立ては甚其意を得ざることに

井伊家のせん頭共のいたした事、又浪籍を働きましたはそれに居らるゝ井伊家の御家臣がいたした事、それは鐵扇を持つて當家のふねに躍り込み、せん頭共を打据えましてござる』と恠う申すと秋山要介は

剩さへ水戸家のせん頭共は棹を持つて當家のせん頭を打たんといたしました、それが爲に玆に争ひを生じましてござる』と云ふと水戸のふな役人川口松兵衛と申す者が松『イヤふねを打突けたは



それへ進み出て要『控へろ、好んで俺が喧嘩を買つた譯ではないぞ、又俺は井伊家より扶持を受けて居る者では無い、然し出入はいたして居る、それは神影流の劍術在家中の者に指南いたす爲め相當な報酬は取るが、一ト掴み米なりと井伊家より受けては居らぬ、この植松寅次郎は俺の門人だ、今般井伊家の領地佐野の天明の支配として任地に赴くに就て俺は同道いたした、又水戸のせん頭を懲したはあまりに彼等が水戸中納言殿の權威を笠に着て横暴を働さ居るゆる鐵扇

井伊家のせん頭共のいたした事、又浪籍を働きましたはそれに居らるゝ井伊家の御家臣がいたした事、それは鐵扇を持つて當家のふねに躍り込み、せん頭共を打据えましてござる』と恠う申すと秋山要介は

を喰はして後事を戒めつかはした、自分は秋山要介と申す者である、何卒契白に此儀を御吟味下さる様に』と伊奈半左衛門に申立てる、玆で伊奈より水戸家と井伊家へ此事を達したとて、井伊侯これを聞いて

井『豫て承りしに利根川を往復いたす水戸家の船に乗ら込み居る者共は、威を振ひ通行の船舶を脅かす由、尙當家の持船に向つて暴行を加へる其不法なる度らみ申立てる段、不埒至極何と申し參るとも植松及秋山は水戸家に引渡す事はならぬ此事確と申明けよ』と大層立腹した、家老はこのやうな事にて、水戸家と不和を生じては後々の不爲と伊奈半左衛門に扱ひを頼んだ、伊奈は水戸の家臣に交渉して怪俄をいたした者には相當の手當を與へてこれにて和解いたす様に盡力いたした。水戸家でも威張つた事は云へない、今度の一件は此方が宜しくないといふことは知つてゐる、然し此儘引退ては水戸の權威を損付けると、そこで秋山要介は井伊家に入出を止めるといふ、これを條件にして和解いたした、それがために要介は根岸の住居へ引取ると植松寅次郎は佐野の天明の支配地に赴いた。秋山は執拗な性質とて井伊家の出入は止められたにも拘らず折々出向いては若侍に劍術の稽古をつける、其事が水戸家に洩れて、これは怪しからん約束が違ふと井伊家に談判すると目附の答へに

目『秋山と申す者は參らぬこれは出入を止めてあるから參る譯はない、然し若侍共は秋山を慕ふて彼の道場に出向いて稽古をいたす、又當家へ參つて劍術を教へ

る者は秋山要介の高弟杉山五郎兵衛と申す者であるそれを秋山要介と思ひ違へし事であらう』とこう申した、水戸家でも秋山を引促へてその正體を見届けた譯でもない、さすれば秋山に相違ないと威張つて云ひ切ることは出来ない、要介はこれを聞いて笑つてゐる、水戸家では今度秋山が出入をした處を見たらば、押へてやらうとその當座は井伊家の邸前に張り込んだが影も見えない

内小兒科・花柳病科  
**藤沼醫院**  
入院應需  
平電話 五〇七番  
町屋紺

見習生募集  
十四才より十六才迄

高橋時計店  
精幸堂 號

委細面談  
平町搔樋小路  
(キクチ自動車店向)

花見折詰  
辨當  
仕出  
錦水  
旭硝子株式會社製品  
板ガラス  
製造賣販  
硝子食器  
菓子壘  
其他各種  
松崎硝子製作所  
平町新川町(電話一四二番)  
支工場 仙臺市榮町 電話五九七番

御入學御祝に...  
正確本位のクローム腕時計をおすゝめ致します  
學生特價  
奉仕品  
蓄音器部  
春の朗らかな夜に家庭平和を斗る蓄音器を...  
四月新譜の内(コロンビヤ)  
軍事小唄(塹壕の唄 從軍記者の唄 鐵道歌 鐵道小唄)

平町五丁目(電話一九五)  
鐵道省用  
**金光堂時計店**  
蓄音器部

**吉田眼科病院**  
電話六八番